

絶滅から クニマス 発見まで

田沢湖とその周辺に何が起こっていたのか。
最後のクニマス漁師・三浦久兵衛の想いとは…。
田沢湖で絶滅した「種」は
山梨県西湖でどうつながったのか…。
田沢湖の過去と未来へ想いを馳せよう。

100年の時を経て「クニマス」が語る
壮大な生命の物語

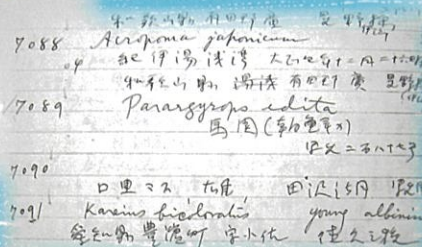
必見!!

世界最古の
田沢湖産クニマス標本
里帰り展示

東京大学で見つかった最も
古い田沢湖産クニマスの標
本と「クチグロマス」を展
示します。お見逃しなく!!



見つかった幻のクチグロマス



東大魚類標本台帳の口黒マス

企画展開催期間

令和7年

10月4日(土)~11月30日(日)



田沢湖クニマス未来館

開館時間／午前9時～午後4時 ※毎週火曜日は休館日

ご覧
ください



@KUNIMASU.MIRAI

田沢湖クニマス未来館
インスタグラム



仙北市ホームページ
「クニマス情報」

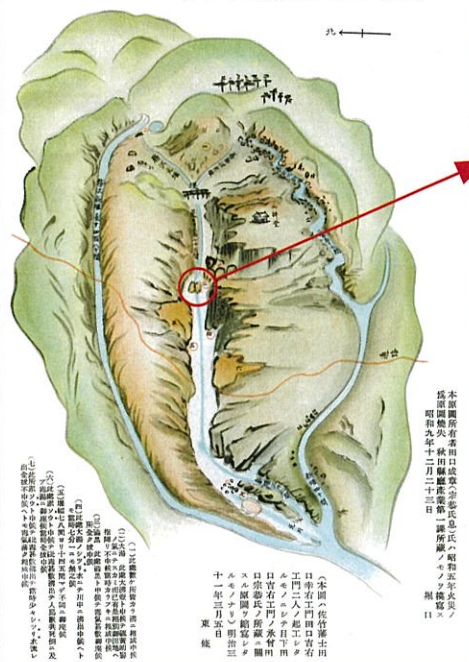
田沢湖クニマス未来館※企画展 クニマス— 絶滅から発見まで —

仙北地方の宿病ともいべき玉川酸性水との闘いの過程で田沢湖のシンボルであるクニマスが姿を消しました。1930年代に大凶作が頻発し、戦争が迫り来る中、田沢湖は食糧増産や電源開発を目的に開発されることになりました。それと引き換えに湖は多くの生き物の命と美しい景観を失いました。その過程でどうことがなされたのか、人々はどのような努力をしたのか。そして、最後のクニマス漁師だった三浦久兵衛は変わりてた湖にいたたまれぬ思いを抱き、過去にクニマスの卵が分譲された湖を訪ね歩き、晩年までその姿を追い求めました。生前に再会はないかもしれませんが、クニマス探しの情熱が起点となって山梨県・西湖での生息確認まで発展し、里帰りを望む人々の思いを喚起してきました。そうした田沢湖の歩みをひもとき、失ったものをどうよみがえらせるかの視座となるようにこの企画展を開催しました。田沢湖にまつわる過去と未来に理解を深めていただきたいと願っています。

玉川酸性水との闘いの歴史をひもとく。

藩政時代の除毒

メロル湖の製錬所工機年五永義十郎 圖之後行施除排水毒年二十保天



【図1】



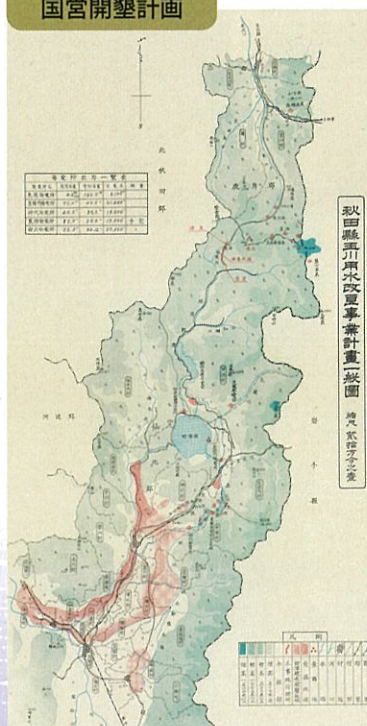
玉川温泉の大噴

玉川温泉の源泉の大噴からは強酸性（塩酸）で98℃の熱湯が湧き出ています。この温泉水は玉川へと流れ、玉川毒水と呼ばれ農業水としては不適であり、藩政時代から悩みの種でした。昭和12年の『田沢湖水開墾国営事業』に至るまで、仙北地方は毒水と闘い続けていました。

【図1】源泉の西側と東側に水路を掘り、噴出口へ流れ込む水を下流へ導いた。

【図2】豊富な水量の玉川水を活用した国営開墾計画

国営開墾計画



【図2】

～田沢湖の過去と未来へ想いを馳せよう～

INFORMATION

■交通のご案内

- 電車・バス／JR田沢湖駅より羽後交通バス「田沢湖一周線」大沢バス停下車、徒歩2分（所要時間約30分）
- タクシー／JR田沢湖駅より約20分

■入館料金表

大人：高校生以上 小人：小・中学生

クニマス未来館			思い出の湯分校との2館共通券
個人	大人	500円	800円
	小人	300円	400円
個人JAF会員	大人	400円	600円
	小人	200円	300円
団体 (20人以上)	大人	400円	600円
	小人	200円	300円

※個人JAF会員はJAF会員証提示で5名まで割引

※仙北市民／6歳未満は無料です

田沢湖クニマス未来館からは
神秘的湖・田沢湖と
四季折々の美しい山々を望めます



「思い出の湯分校」は昭和49年に廃校となった校舎を修復し一般公開した施設で、古き良き時代の空間に癒されます。

お問合せ

田沢湖クニマス未来館

〒014-1203 秋田県仙北市田沢湖湯子ヨテコ沢4

TEL 0187-49-8131 FAX 0187-49-8151

<https://www.city.semboku.akita.jp/sightseeing/kunimasu.html>